



バラの会

本田 みえ
議員

▼資源ごみの再利用について

Q 五島市においてプラスチックごみから油を生成する環境省の実証実験が行われた。島原市でも油を生成できればごみの運搬コストも掛からず環境に優しいと思うがどうか。

A 五島市でのモデル実証事業が今後評価されるとのことであり、島原市でも取り組みが可能か研究したい。

▼観光名所の一つとして の芝桜公園

Q 芝桜公園の現在の取り組み、運営の状況はどうなっているのか。

A NPO法人芝桜公園をつくる会により管理運営が行われている。会の運営は、会費、寄附金、協力金等で賄われており、除草や植栽活動については、一年間で二十四回、二千八百五十二名のボランティアが参加されたと聞いている。

Q 管理にはある程度安定した労働力を確保することが大切であり、それにより芝桜公園が観光名所として発展が

見込まれると思うが、人件費についての補助はできないのか。

A 多くの観光客に来ていただいていることは十分認識している。行政としても島原の観光資源として協力したいと考えるが、そのためには目的や費用対効果などを明確にしなければならぬので、関係団体等を含めて問題点を整理する必要があると考えている。

▼高齢者がいきいきと輝くまちづくりについて

Q 島原城のシルバー人材センターへの委託料について、十二月議会で精査すると答弁があったが、結果はどうなったのか。

A 平成二十八年度の業務委託契約を行う中で、発注者と受注者との協議により、平成二十七年年度の収支を見ながら調整中と聞いている。

Q シルバー人材センターの委託料について、定期的な見直しをする必要があると思うがどうか。

A 島原市シルバー人材センターが単独でどこまでできるかは不明だが、高齢者が社会に参画するという意味から協力やお願いはできる。

【その他の質問項目】

◇コミュニティバスの試験運行について

◇和服の活用について



バラの会

楠 晋典
議員

▼雲仙・普賢岳噴火災害から二十五年

Q 雲仙・普賢岳噴火災害を風化させないため、市ではどのような取り組みがされているのか。

A 六月三日をいのりの日と定め、献花所の設置、半旗の掲揚や午後四時八分にはサイレンを吹鳴して市民に黙祷を呼びかけている。小・中学校では、いのりの日集会を実施し、被災された方からの講話や児童・生徒による学習発表などを行っている。今後も噴火災害を風化させることなく、後世に引き継ぐための取り組みを続けていく。

Q 災害を経験したことがない市民のために、雲仙岳災害記念館などの施設を有効活用できないか。

A 多くの市民が雲仙岳災害記念館に足を運んで欲しいと思っており、どのようなことができるのか、雲仙岳災害記念館と協議してみたい。

Q 防災力向上のために防災士の資格をもつ市職員を育成してはどうか。

A 地域防災力の向上のために大変重要なことだと考えている。

▼島原城周辺のこれから の可能性と方向性

Q 島原城跡が県の文化財に指定され、今後はいろいろな制約を受けることになると思うが、老朽化が進む島原文化会館、森岳公民館について今後の方針はどのように考えているのか。

A 既存の建物はそのまま活用してよいことになっているので、維持修繕をしながら大切に使用していきたい。

▼平成二十八年度施政方針について

Q 湧水をPRしている島原において、硝酸性窒素濃度が高い地域がある。原因の一つとして家畜排せつ物が考えられるが、どのような対策を行っているのか。

A 家畜排せつ物法に基づき、県などの関係機関と連携し、現地調査など適正な指導を行っている。また、市独自の対策として、窒素負荷低減対策推進会議を設置してモニタリング調査を行っている。

【その他の質問項目】

◇NHKのご自慢の会場は島原復興アリーナでは

◇若手職員の企業派遣研修事業とは
◇創業希望者支援 廃業を余儀なくされようとしている事業所とのマッチングとは